

いつか 必ず きっと

緊急事態宣言延長…。学校再再休業延長について思うこと。

今現在、3年生は、中学校最終学年として挑もうとしていた学校行事や部活動を奪われた喪失感の中、毎日過ごしているのではないかと思います。何もできないまま最終学年が幕を閉じてしまうかもしれない不安と焦り。繰り返される休業。先の全く見えない未来に悔しささえ実感できないくらいエネルギーを落としているのではないかと心配になります。1年生にとっても、毎日が最初で最後の大切な時間です。一番大切なのは、失われたものを取り戻してあげられるように、大人や社会が必死になることです。できない理由を探すのではなく、できる方法をみんなが同じ方向を向いて探すのです。たかが一教員としての先生達には、教育の制度そのものを変えるような大改革に奔走することはできません。されど、国本中には、毎日必死になって、みんなのためにできることを模索している教員がたくさんいます。先生もそんな人達の情熱に負けないよう、みんなが、学校に来るのが楽しみになるような準備をしたいと思います。

「辛」という字に棒を一本足すと、「幸」になる。この棒とは何か？それは「希望」です。誰にでも、できることがある！頑張ろう！

「私は、私にできることをしているだけ」



「微力ではあるが、無力ではない。」



休業生活の心と体の元気チェックシート

A：十分できている B：おおむねできている C：改善が必要である

	1週間ごとに生活を振り返り、修正しながら過ごしてください。	評価 (○をつける)
1	早寝早起きができている。(基本的生活習慣は本気の源)	A・B・C
2	検温を行い、健康管理に努めている。(健康第一)	A・B・C
3	栄養バランスの良い食事を摂ることができている。(免疫力を高める)	A・B・C
4	適度な運動を行うなど、気分転換することができている。(免疫力を高める)	
5	1日10分、読書に集中している。(ちりも積もれば山となる)	A・B・C
6	あいさつを自分から率先して行うことができている。 (人に対する積極的な行為の第一歩)	A・B・C
7	アリ中の愛言葉「ありがとう」を表現することができている。(感謝と優しさ)	A・B・C
8	自分の気持ちがリラックスできる方法を見つけてやっている。 (イライラしたりかっとなったとき一息入れる)	A・B・C
9	「死ね」「消えろ」「ウザイ」など、人の心を突き刺すような言葉を使っていない。(自分自身にも同じ効果を与えることにもなる)	A・B・C
10	自分で立てた計画に従って生活できている。(自主・自律、臨機応変な対応)	A・B・C
11	学習課題に、集中して取り組む事ができている。(学習習慣の確立)	A・B・C
10	ダレカノタメニという意識での行動を実践することができている。 (誰かのためには自分のために)	A・B・C
11	身の回りは、整理整頓できている。(心地よい環境を自分で整える)	A・B・C
12	今だからできる、自分自身を高めることに取り組んでいる。 (ピンチをチャンスに変える)	A・B・C
13	スタンダード・ダイアリーに日記をつけて、自分ができたことを評価できている。 (微力ではあるが無力ではない)	A・B・C
14	見知らぬ誰かが発信している悪い情報やデマに流されず、安心できる親しい人との交流を大切に生活できている。(接触は減らしかわりを増やす)	A・B・C
15	スマホなど、インターネットに接続できる機器の使用について、お家の方と約束事やルールを決めてそれを守っている。(楽しい≠正しいの判断をしっかりと)	A・B・C



保護者の皆様、さらなる休業延長でご負担をおかけします。休業中の臨時登校日や新しい学習課題など決まりましたら、メールまたはホームページでお知らせします。お気づきの点などありましたら学校に連絡をいただくと幸いです。よろしく願います。生徒のみなさん、休業中、困ったことや不安なこと、どうすればいいか判断に迷うことなどあったら、いつでも連絡してください。